

参 考 手 本

荷香酒盃に随う

荷香酒盃に随う

※これは規定課題ではありません。

成瀬映山先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



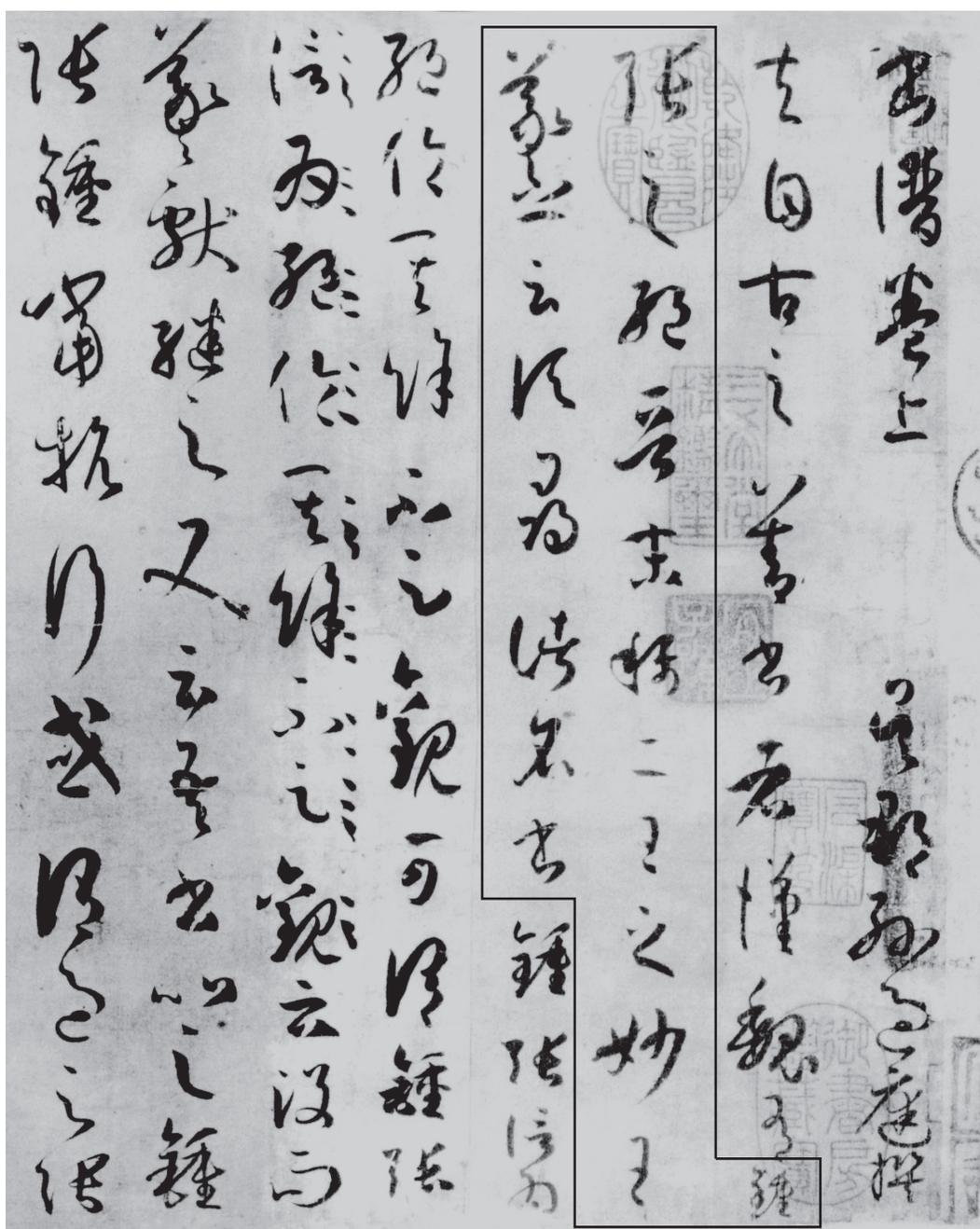
近ちかきを賤いやしみて遠たつときを貴たつとぶ

高 木 聖 雨 先生

条幅規定

A部 (準五段以上)

『書譜』② 孫過庭



鍾張抗行の書法

書譜卷上 吳郡孫過庭撰。
夫自古之善書者。漢魏有鍾張之絕。晉末稱二王之妙。王羲之云。頃尋諸名書。鍾張信爲絕倫。其餘不足觀。可謂鍾張(信爲絕倫其餘不足觀)云沒。而羲獻繼之。又云。吾書比之鍾張。鍾當抗行。或謂過之。張

書譜卷上 吳郡の孫過庭撰す。夫れ古よりの書を善くする者は、漢魏に鍾張の絶有り、晋末に二王の妙を称す。王羲之云く、頃諸の名書を尋ぬるに、鍾張は信に(絶倫)たり。其の余は觀るに足らずと。謂う可し、鍾張云に没して、羲獻之を繼ぐと。又云く、吾が書は之を鍾張に比すれば、鍾には当に抗行すべく、或いは謂えらく、之に過ぎんと。張の

【今月の課題】

「鍾張之絶晉末稱二王之妙王羲之云頃尋諸名書」
(20字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

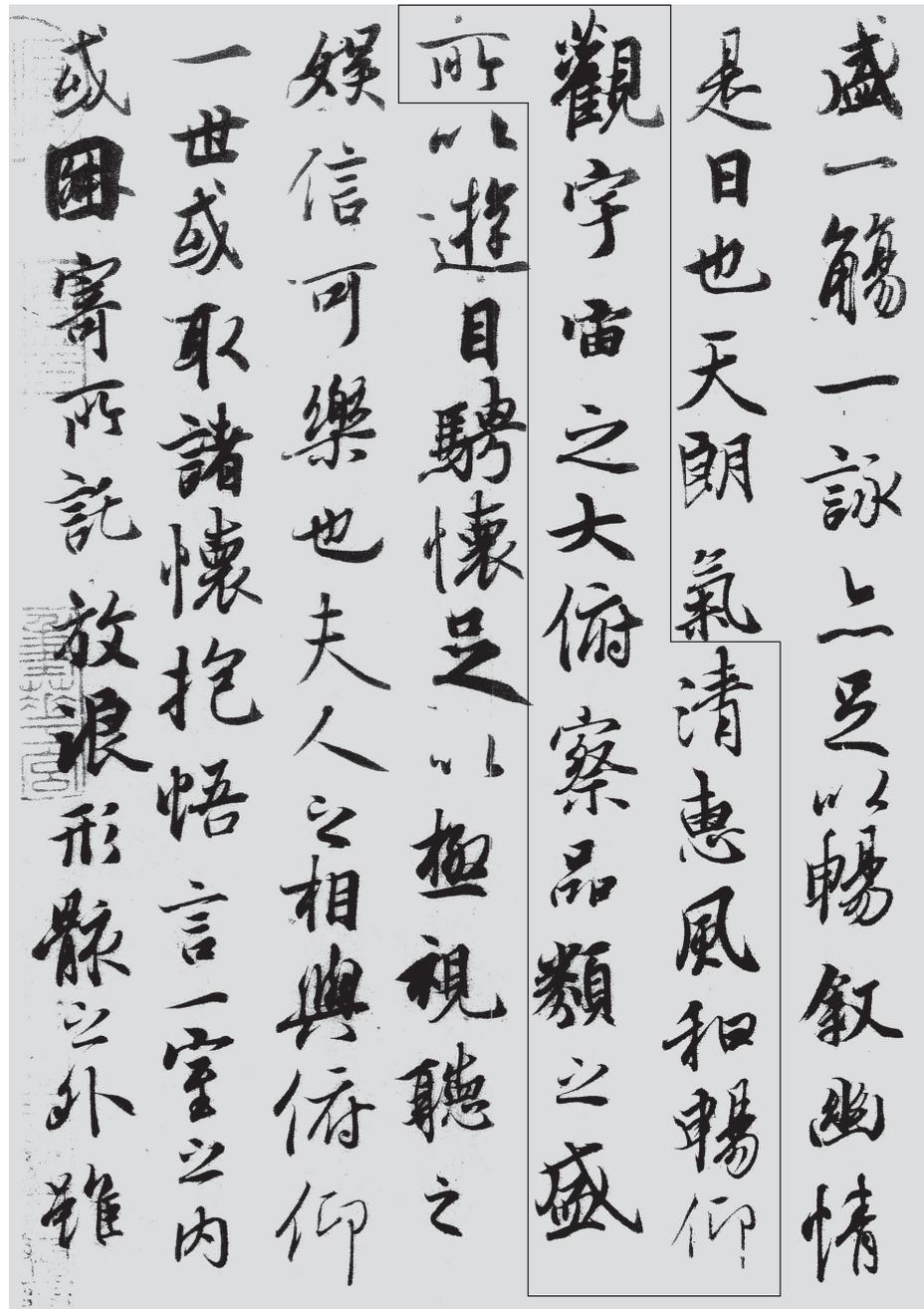
条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

(7月10日締切)

条幅規定

B部（四段以下）

『蘭亭叙』 王羲之（東晋）



風和觀類盛

盛。一觴一詠。亦足以暢叙幽情。是日也。天朗氣清。惠風和暢。仰觀宇宙之大。俯察品類之盛。所以遊目騁懷。足以極視聽之娛。信可樂也。夫人之相與俯仰一世。或取諸懷抱。悟言一室之內。或因寄所託。放浪形骸之外。雖

盛無しと雖も、一觴一詠、亦た以て幽情を暢叙するに足る。

是の日や、天朗らかに気清み、惠風和暢す。仰いでは宇宙の大を觀、俯して品類の盛んなるを察す。所以目を遊ばしめ懷を騁せ、以て視聽の娛しみを極むるに足れり。信に樂しむ可きなり。夫れ人の相い與に一世に俯仰するや、或いは諸を懷抱に取って、一室の内に悟言し、或いは寄せて託する所に因つて、形骸の外に放浪す。

【今月の課題】

「清惠風和暢仰觀宇宙之大
俯察品類之盛所」

(18字)

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

(7月10日締切)

半紙規定 (二)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



在安定或處

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



武中元元年

或いは安定に在り或は武都に処り

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔二級以下〕楷書

〔光武の中元元年、

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(7月10日締切)

条幅参考手本

耶溪採蓮女見客棹歌回笑入
荷花去佯羞不出來

長澤豊雲先生

耶溪採蓮女 見客棹歌回 笑入荷花去 佯羞不出來

耶溪採蓮の女 客を見て棹歌して回る 笑って荷花に入つて去り 佯り羞じて出で来らず

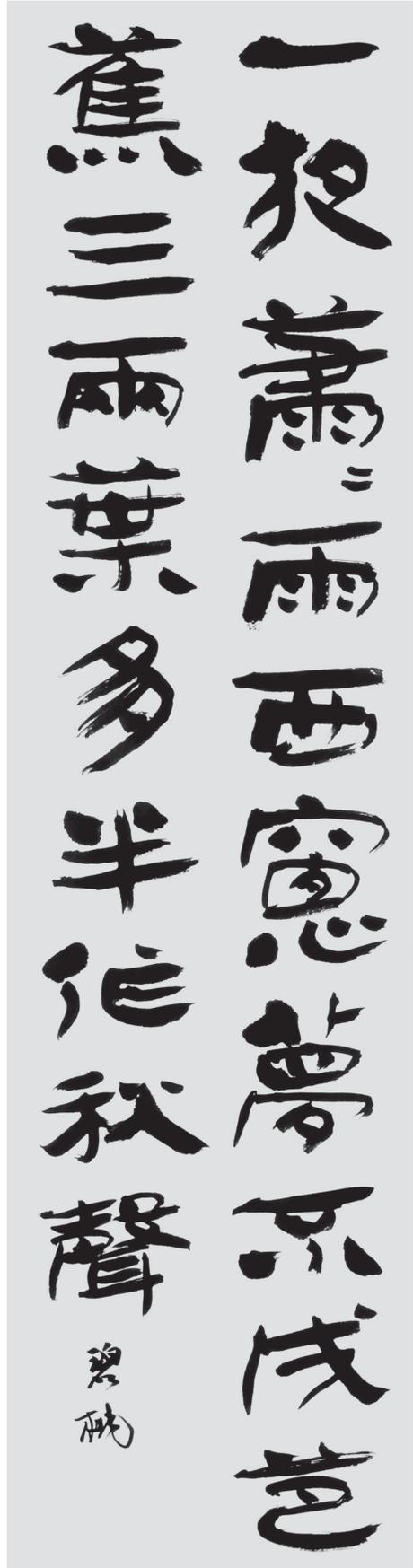
朝平霞山先生

艇子膠沙嘴坳堂等置杯何須愁日暮
會有夜潮來

艇子膠沙嘴 坳堂等置杯 何須愁日暮 會有夜潮來

艇子沙嘴に膠き 坳堂等しく杯を置く 何ぞ須く日暮を愁えん 会夜潮の来る有り

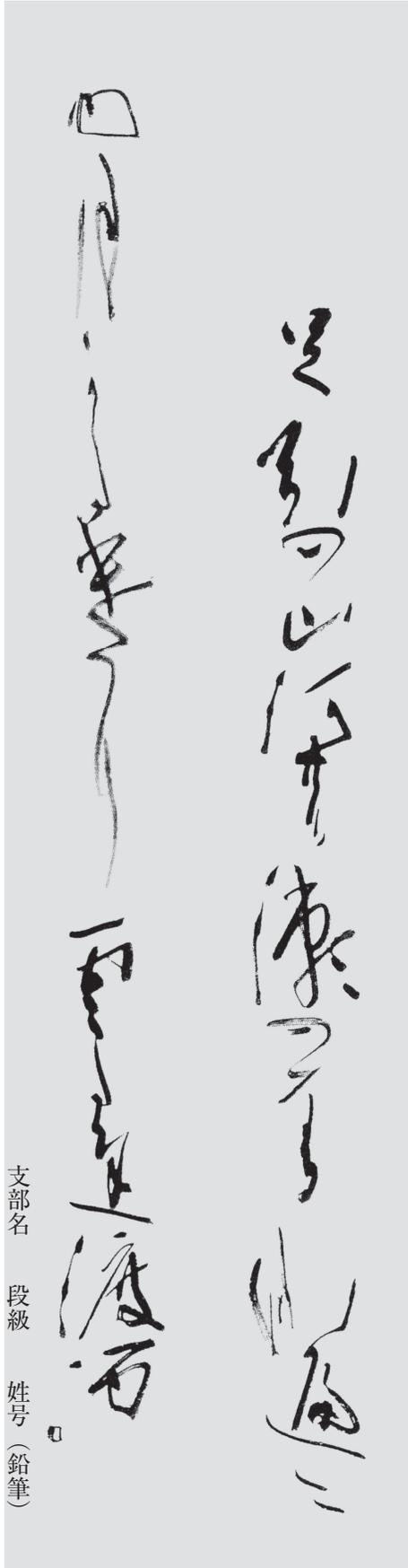
条幅参考手本



鰐渕碧桃先生

一夜蕭蕭雨 西窓夢不成 芭蕉三兩葉 多半作秋聲
 一夜蕭々の雨 西窓夢成らず 芭蕉三兩葉 多半秋声を作す

条幅かな



浮乗清郷先生

足引の山河の瀬の響るなべに弓月が嶽に雲立ち渡る (柿本人麿)

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

支部名 段級 姓号 (鉛筆)

(7月10日締切)

半紙かな（1級～8級）

若竹わかたけやあかつき暁あめよひの雨宵あめよひのあめあめよひ（与謝蕪村）

あつきのあめ
あつきのあめ
あつきのあめ
あつきのあめ
あつきのあめ
あつきのあめ
あつきのあめ
あつきのあめ
あつきのあめ
あつきのあめ

若竹や

支部名
級
姓
号
（鉛筆）

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

山やまかかげの岩いわ間まをつたつたふふ苔こけ水みづのかすかすかにかにわれわれははすすみみわたわたるるかなかな（良寛）

山かげの岩間をつたふ苔水のかすかにわれはすみわたるかな
山かげの岩間をつたふ苔水のかすかにわれはすみわたるかな
山かげの岩間をつたふ苔水のかすかにわれはすみわたるかな
山かげの岩間をつたふ苔水のかすかにわれはすみわたるかな
山かげの岩間をつたふ苔水のかすかにわれはすみわたるかな
山かげの岩間をつたふ苔水のかすかにわれはすみわたるかな
山かげの岩間をつたふ苔水のかすかにわれはすみわたるかな
山かげの岩間をつたふ苔水のかすかにわれはすみわたるかな
山かげの岩間をつたふ苔水のかすかにわれはすみわたるかな
山かげの岩間をつたふ苔水のかすかにわれはすみわたるかな

支部名
段
姓
号
（鉛筆）

※ちらし文字変換は自由

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

（7月10日締切）

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

これより君は行く雲とともに都
を立ちいでて懐へば琵琶の湖の
岸の光にまよふとき東胆吹の山
高く西には比叡比良の峰…

支部名 段、級 姓号

渡 邊 南 嶂 先 生

島崎藤村詩「晩春の別離」より

(7月10日締切)

細 字

僻境于闐困苦飢餓
 僻境于闐困苦飢餓
 僻境于闐困苦飢餓
 僻境于闐困苦飢餓

支部

段級

姓

号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

于^う僻^{へき}

境^{きょう}

闐^{てん} 僻地。

新疆省にある砂漠の中の部落。

(7月10日締切)

硬筆（1級以下）

2行、楷書

初夏の爽やかな風が木々の緑と戯
れる季節となりました。

支部名 級 姓 号

渡邊南嶂先生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

…憂鬱…紫陽花…

紫陽花は雨が似合う花であり
梅雨の憂鬱さを紫陽花の美し
さがつかの間忘れさせてくれる。

支 部 名 姓 号

青柳江雲先生

※本院定型用紙・たて半分を書く

（7月10日締切）

中2用

支
部
名
古
都
千
年
の

段
級

名
前

渡邊南嶂先生

中3用

支
部
名
進
步
人
類
の

段
級

名
前

大越三宗先生

小6用

支
部
名
調
色
和
の

段
級

名
前

渡邊南嶂先生

中1用

支
部
名
反
省
生
活
の

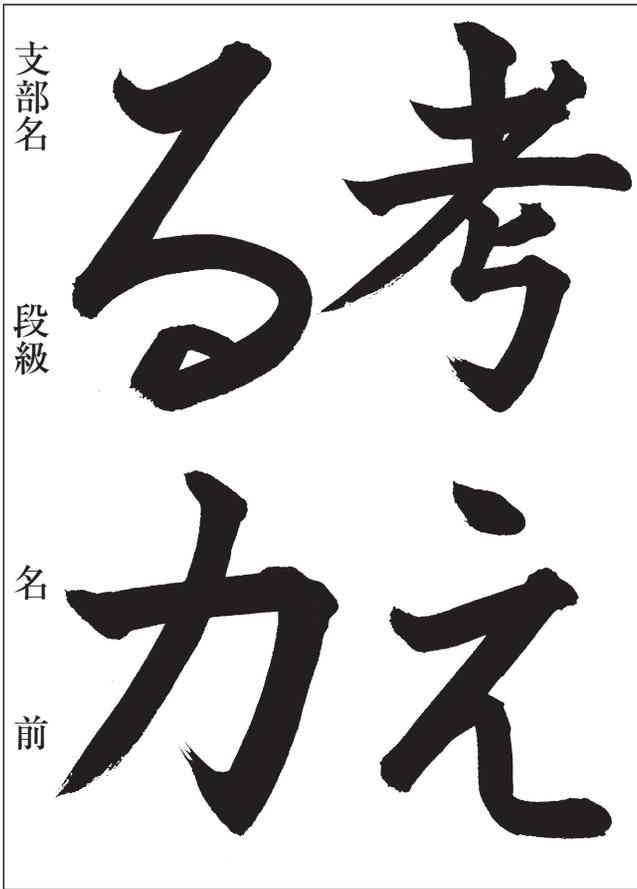
段
級

名
前

渡邊南嶂先生

(7月10日締切)

小4用



大越三宗先生

小5用



大越三宗先生

小2用



鈴木翫恵先生

小3用



鈴木翫恵先生

(7月10日締切)

中1

の 転校した友人が、学校
写真を送ってきた。

中1~中3

中2

立派な人材も確かな指
導者がいてこそ生きる。

青柳江

中3

有限な地球資源を、効
果的に節約しよう。

雲先生

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

くも

鈴木 惠 先生

小1・幼年

げんきなこえで、おは
ようございます。

小1~小3

小2

雨あがり、にじ、水た
まり、あじさい。

田辺翠

小3

みどりの森の中を歩く
のは、気もちがよい。

鶴先生

小4

向かいの家からピアノ
の音が聞こえてくる。

小4~小6

小5

今日は、朝から気温が
上がらず暑くはない。

齊藤 翦

小6

田植えがすむと、一面
が緑一色になります。

流先生

(7月10日締切)

小学部小筆課題

支部名	
段級	
名前	打ち寄せる 白い波
前	

主幹 菅野翠濤

中学部かな課題

支部名	
段級	
名前	蝶のつれあひ音 すずかり
前	

船久保 棠苑 先生

※半紙半分を書いて下さい。

(7月10日締切)

※半紙半分を書いて下さい。

8月10日締切課題予告

A部条幅規定 鍾張信爲絶倫其餘不足觀可謂鍾張信爲絶倫其

B部条幅規定 以遊目騁懷足以極視聽之娛信可樂也夫人

かな条幅規定 天の原ふりさけ見れば月清み秋の夜いたく更けにけるかな (源実朝)

半紙規定 (初段以上) 武都或居隴 半紙規定 (二級以下) 醴泉出京師飲

半紙かな (初段以上) かたはらに秋ぐさの花かたるらくほろびしものはなつかしきかな (若山牧水)

半紙かな (一級以下) 朴の花暫くありて風渡る (高野素十)

実用文 霞めるすがた見つくして畿内に迫る伊賀伊勢の鈴鹿の山の波遠く海に落つるを望むときいかに万の恨おぼ空行く鷺に窮むらむ

一般硬筆初段以上 我家の七夕飾り、沢山の短冊を飾りましたが一番の願い事は「健康」です。毎日元気に過ごしたい。

一般硬筆一級以下 福島潟のオニバス (スイレン科) は、絶滅が危惧される希少植物です。

8月10日締切学生部課題予告

中三毛筆 真夏の天空

中三硬筆 梅雨が明けてようやく夏。炎暑の盛夏である。

中二毛筆 夏空天の川

中二硬筆 真夏の太陽、入道雲が青空にもり上がる。

中一毛筆 金魚の群れ

中一硬筆 中学生時代の思い出に白馬岳に登った。

小六毛筆 地上の星

小六硬筆 夏休みには、物語、伝記などの本を読みたい。

小五毛筆 美しい湖

小五硬筆 雨のため、楽しい遠足が中止になった。

小四毛筆 七つの海

小四硬筆 テントの外に出て、美しい星空を見あげた。

小三毛筆 竹うま

小三硬筆 夕立ぐも、虫とり、あさがおの花、なみ音。

小二毛筆 アイス

小二硬筆 なつ休みに、かぶと虫のかんさつをします。

小一毛筆 なつ

小一硬筆 ひまわりのおおきなはながさいた。

中学部かな 木がくれて茶つみもきくや時鳥

小学部小筆 佐渡の島におけさ流し